

情報公開は民主主義の基本

各種委員会は公募制に

10月7日、第二回上島町地域公共交通会議が開催され試行運行されているデマンド交通の実績報告があった。実績はざっと以下のとおり。

岩城エリア：八月94件、九月99件、上月削エリア：八月111件、九月99件(片道を1件として計算)。稼働率(二か月平均)岩城38.0%、上月削21.5%。新システムが定着するには時間がかかるとはいえず、利用者が多いとは言えない。予約の煩雑で利用したいというほど便利なものとはなっていないということでしょう。運行は9時から16時まで、土、日曜、祝日、年末年始は休み。バスと違って変わらない。住民が不便を感じているのは早朝、夜間、休日の足。半年後の見直し時にはぜひこの点を考慮し、住民の要望に応えていただきたいもの。

会議を傍聴して二点疑問を持ちました。

まず「地域公共交通委員会」の構成員。利用者側の代表は各地域の地区長。彼らの多くは自分で車を

運転し、免許返納もおそらく考えてない方たちと思われる。ここは交通手段がなく実際困っている人達を委員に加えるべき。

現在小、中学校の統廃合をどうするか、議論が紛糾していますが、その中心となる「学校の在り方検討委員会」も同様。やはり公募制にして、当事者、問題解決に関心を寄せる人を構成員に加え、実態に即した議論をはかるべき。人口六千人弱の小さな自治体だからこそ、住民が行政に参加できる、直接民主主義に近い形態も可能はず。

もう一点は情報公開。今回も事前に記された資料は会議の後、回収されました。機密事項も個人情報も記載されていないのには、情報公開は民主主義の基本です。住民には知る権利があります。すべての情報を公開して広く住民の意見を聞くことこそ現在の行政に求められていることです。これこそ町が目標として掲げる「住民との協働」をすすめる第一歩でしょう。

(月刊 古賀佳子)

海水温浴施設『潮湯』は町の魅力。観光資源として

今後長く活用を

来年3月末で廃止か週2日の営業が検討されている潮湯。先日潮湯に外国人夫妻が来ていて、聞けばオーストラリアからヨットで来たみたい。どうやって潮湯へ辿り着いたのかは聞けなかったが、二人はとても感動していて、地元利用者と片言の日本語で交流をしていた。

また、フランスからという女性旅行者は、露天風呂から見える生名や、岩城と夕陽を見て感動し、熱心に写真を撮影していました。

町長はサイクルフリー等の施策を実施し、損して得とれと言ったことでフェリーの自転車代を負担する代わりに町に経済効果をもたらそうという施策のようです。しかし飲食や宿泊代で潤うフェスバの風呂、スボレクのプールといった施設は、いわばあちこちにある。そういう意味では潮湯は唯一無二の観光資源として活かせるのではないか。もっと町内外にアピール

潮湯



多くの方が絶賛する海水温浴施設「潮湯」と夕日

すれば、潮湯の赤字が減るだけでなく、島内の飲食店などにお金を落とすようになり、相乗効果も期待できるはず。それらを考慮すると多少の赤字もしくはトントンになるのでは、ないでしょうか？

潮湯の売りは健康増進だけでなく、一番は海洋療法(タラソテラピー)という事。女性にかなり響くキーワードです。SPA等で拡散されれば瞬く間に世界中に知れ渡り、潮湯のみならず、上島町の名は世界に知れ渡る事でしょう。

美容に良いとなれば、訪れるのは一度だけなくリピーターが増えるでしょう。そうなった場合潮湯の黒字化だけでなく、町のイメージアップに直結し、金額換算すれば、相当な経済効果が期待されます。

公共交通

投稿記事募集のお知らせ

上島町自治研究会では、皆さんの投稿記事を募集しています。募集内容は次の通りです。

テーマ：「潮湯」
文字数：800字程度
締め切り：毎月の第2日曜日
記名原稿をお願いします。原稿は世話人に手渡し、もしくはメール(yukie.onishi@nifty.com)でお願いします。内容に関しては、趣旨の変わらない範囲で手を入れることがあることをご承知おきください。

カンパ募集のお知らせ

上島町自治研究会では、皆さんのカンパを募集しています。活動に賛同いただける方、応援したいと思っただけの方、お手数ですが世話人までご連絡ください。世話人：濱村寿・平山和昭・大西幸江

参加者募集

上島町自治研究会では、皆さんのご参加をお待ちしています。毎月第4土曜日、14時からやよみ亭(下町削515)で開催しています。日ごろ感じていることをみんなと共有してみませんか。聞きに来るだけでもOK。まずは参加してみてください。

【編集後記】



今号から若い世代で編集を担当することになりました。若いと言っても、もう50代に突入の世代。決して若いとは言えませんが、今まで先輩におんぶして頂いていた状況から、少しずつ世代交代していければと思います。

編集を担当して、とにかく時間がない。皆さんの協力がなければ、記事も集まりませんし、編集もままならない状況です。新しい取り組みとしては、記事の募集、会員の募集、カンパの募集を始めました。政治は私たちの生活に密着しています。皆さんの収入から差し引かれる税金は、政治で決まります。日ごろは意識しませんが、私たちの今の生活も、日本国憲法で守られています。

私たちの暮らしを良くするのめわたししたらいけません。まずは、話してみる、聞いてみるそこがスタートです。

お気軽にご参加いただけるよう頑張ります。

編集係代表 大西幸江

回募集では業務委託費用が一円も支払われない。応募要件は以下のように知恵がなさすぎないか？この条件で応募したい者が現れるとも思えないが、どうなんでしょう？

・光熱水費・修繕費等を含む全ての運営費用は運営者の負担とし、町負担はないものとしません。

・健康増進施設として週一回以上は営業していただきます。

(月刊 亀島文志郎)